



ビオトープ整備の実施状況

◆平成22年度まで
6校

↓

◆平成23年度
さらに、7校へ

15校中13校への整備等の実施

エコシティたかつ eco-city takatsu
 ...わたしと地球をつなぐ...
小学校教職員向け研修会の実施

◆平成24年2月15日(水) 南原小学校 ビオトープ、理科室
 ◆川崎市理科研究会(中部地区)と連携

「エコシティたかつ」,
「学校流域プロジェクト」等の説明

生きもの採取

生きもの観察



たかつの自然の賑わいづくりプロジェクト

★小流域ごとに環境資源を確認し、さまざまな活動を通して、保水力・土砂防災力の高い流域づくりに貢献する。
 =保水貢献=地球温暖化緩和策貢献

★小流域ごとに環境資源を確認し、さまざまな活動を通して自然の賑わい(=生物多様性)の回復をめざす
 =生物多様性保全貢献

※ 小流域ごとの工夫で、足もとから自然の賑わいとともにある持続可能な高津をめざす


エコシティたかつ ～わたしと地球をつなぐ街～

調査日: 1月12日(木)
参加人数8名

作業日: 1月26日(木)
(※1月21日を予定していたが雨天のため順延)
参加人数6名

場 所: 高津区市民健康の森(たちばなふれあいの森)

講師: 岸由二先生(「エコシティたかつ」推進会議委員長、慶応義塾大学教授)
TRネット 小林事務局長



エコシティたかつ ～わたしと地球をつなぐ街～

◆2つの谷戸地形と雑木林

- エノキの木の落ち葉の中で越冬する生きもの調査
- 雑木林の植生調査など




エコシティたかつ ～わたしと地球をつなぐ街～

雑木林の植生の変化

明るい雑木林を維持し、
林床植生を維持するために注意が必要な樹木



アオキ シロダモ

エコシティたかつ ～わたしと地球をつなぐ街～

要注意外来植物のトキワツユクサ

トキワツユクサ【常緑露草/別名: ノハカタカラクサ】



常緑多年草。日本には昭和初期頃に侵入して増え、雑草として駆除されてきたが、近年急速に分布域が拡大している。
葉裏の多い植物に似て、葉裏が白く変化する点から、大塚常緑常緑草(オウソウ)と誤認され、アオキと混同されることが多い。葉裏が白く変化する点から、アオキと混同されることが多い。
葉裏が白く変化する点から、アオキと混同されることが多い。
葉裏が白く変化する点から、アオキと混同されることが多い。
葉裏が白く変化する点から、アオキと混同されることが多い。

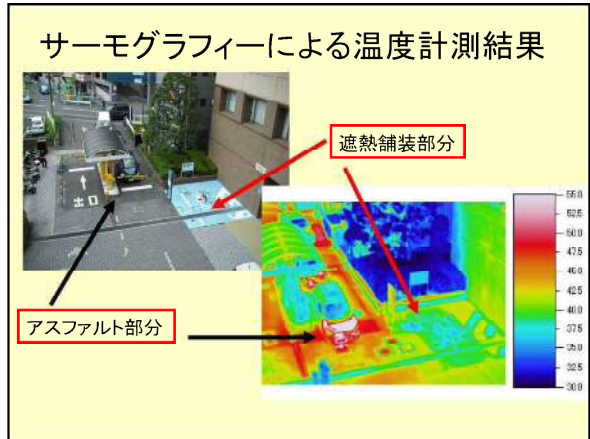
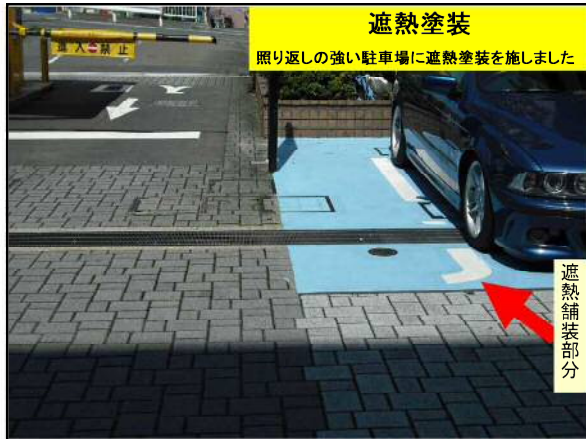
エコシティたかつ ～わたしと地球をつなぐ街～

トキワツユクサの駆除




エコシティホール化プロジェクト









産学官連携による共同研究

(株)モスワールド・東京農業大学・高津区役所

↓ 連携

「コケ緑化の省エネ効果検証」
道路公園センタープレハブ倉庫



ヒートアイランド調査プロジェクト




結果報告及びヒートアイランドマップの発行

参加者及び「エコシティたかつ」推進会議にて報告

平成21～22年度に調査実施






エコ企業調査プロジェクト

★平成23年度テーマ
～区内企業の取組から最先端の環境技術をたどる～



平成24年2月10日(金)

◆BDFで回るエコバスツアー

(株)新川崎製作所

(株)朝日プリンテック

川崎国際環境技術展
2012







★たかつ節電大作戦2011
東日本大震災後の電力不足も踏まえ、区役所総ぐるみで節電にチャレンジ!

大作戦キックオフイベント / 職員による“クールビズ”のファッションショーの1コマ
キラリ☆たかつ大使・ヴァンプ将軍も大活躍

★川崎国際環境技術展2012への出展

- ◆昨年度に続き、2度目
- ◆区役所内、若手職員を中心とした「高津区タウンセールス推進プロジェクト」のメンバーが企画運営